



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

＜うみの杜ニュース＞

2025年10月

仙台うみの杜水族館

「オウサマペンギンのヒナ」 すくすく成長中!!

海と人、水と人との、新しい「つながり」をうみだす水族館『仙台うみの杜水族館』では、「オウサマペンギンのヒナ」が、2025年9月1日(月)に誕生しました。

ヒナは誕生時の体重183gでしたが、日に日に大きくなり現在は2kgを超え、すくすく成長しております。親ペンギンにごはんをねだる姿や、くっついて甘える仕草、親ペンギンに羽繕いされながら無防備に寝る姿など大変可愛い様子を間近でご覧いただけます。

「オウサマペンギンのヒナ」は、4年ぶりとなり5例目となります。



※写真は、飼育スタッフが展示スペース内で撮影

〈この報道資料に関する報道関係各位のお問い合わせ〉

仙台うみの杜水族館 小畑、佐藤

TEL :022-355-2214 FAX:022-355-2225

kouhou@uminomori.jp

仙台うみの杜水族館HP <https://www.uminomori.jp>



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

1日齢の体重測定の際の姿



9月2日撮影

親ペンギンにごはんを
ねだる姿



9月16日撮影

親ペンギンに甘える姿



10月9日撮影

順調に成長すれば、今冬には“大きすぎるペンギンのひな”として話題になった「けやき」のように、ふわふわの羽毛で覆われた姿がご覧いただけるようになります。

「けやき」

2018年8月15日誕生 2019年1月の様子→



オウサマペンギン

学名：*Aptenodytes patagonicus*

英名：King Penguin

亜南極域に生息。小魚やエビ、イカなどを食べる。

通常1個の卵を産み、抱卵期間は約60日。

巣を持たず、足の上で抱卵嚢（ほうらんのう）とよばれる腹部のだぶついた皮をかぶせて卵を温める。

孵化後は5週間から6週間、足の上で育児を行う。

